

ふれあいニュースレター

【政府原子力被災者生活支援チームからのお知らせ】

今号の ほんと・ニュース

ならは雪まつりが開催されました

2月7日、檜葉町民が避難生活を送る宮里仮設住宅（会津美里町）で「ならは雪まつり」が開催されました。

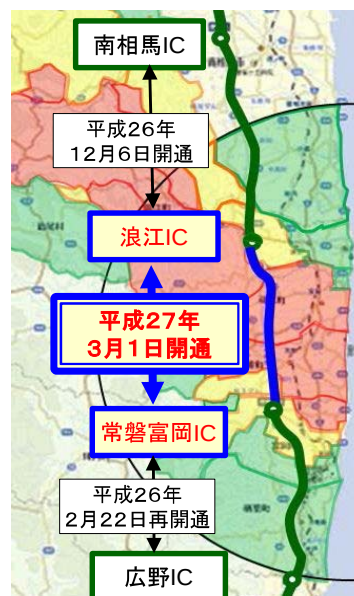
他地域に避難している町民も参加し、昼間はそり遊びや餅つき、夕暮れ後はかまくらにろうそくの火を灯したり、「鳥小屋」（正月飾りなどを焚き上げて歳神を送る小正月の行事）など、心温まる雪国のイベントを楽しみました。



NEWS 常磐自動車道が全線開通しました

3月1日、常磐自動車道のうち最後の工事区間となっていた常磐富岡IC～浪江IC間が開通し、三郷ジャンクション（埼玉県）から亘理IC（宮城県）までの約300kmが全線開通しました。

これによって、東北と関東が大動脈でつながり、住民の交流や物流が活発になり、復興の加速につながることを期待されます。



避難指示区域内における開通の経緯

暮らし関連2



「再生可能エネルギーの市場拡大を担う人材を育てたい」

暮らし関連3



「村の内外から若い人たちが集まるよう、企業として力添えをしたい」

NEWS等4

国道288号～県道35号において通行証の確認が不要になりました等



詳しくは、NEXCO東日本のホームページをご覧ください。
http://www.e-nexco.co.jp/pressroom/press_release/head_office/h27/0210c/



「再生可能エネルギーの市場拡大を担う人材を育てたい」

福島大学では、地域イノベーション戦略支援プログラム（文部科学省）の一環として、平成24年度から、再生可能エネルギーの新技术の開発と併せて、再生可能エネルギーの事業化に関する人材を育成するプログラムを運営しています。

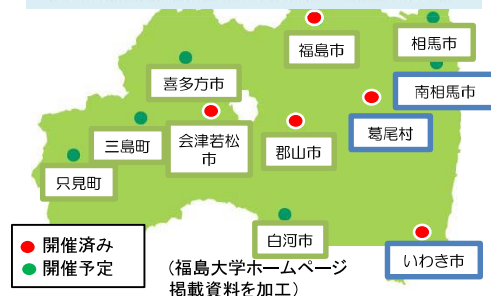
福島県ではエネルギー需要の100%以上の再生可能エネルギーの導入目標を掲げていますが、この実現のためには、まず、既存の技術を最大限に活用した市場の拡大が重要です。

そこで、設備導入事業の企画立案から実施運営までを行える人材を育成するため、企業などの方々の協力を得て講座（再エネ技塾）を企画し、いわき市を含む県内各地で開催しています。

講師は再生可能エネルギービジネスの第一線で活躍する方々にお願いしており、これまで県内外から約140名が受講しました。

この人材育成プログラムのゴールは、実際の復興に役立てることです。そこで各市町村の復興計画を調べた結果、葛尾村では技術開発の成果と併せて村づくりに生かしてもらえる可能性があるのではないかと考え、今年2月から現地見学やグループ討議を含めた実習を企画し、実施しています。

「再エネ技塾」(講座)の開催・開催予定地



地元の若い人たちにエネルギー地産地消の社会づくりを担ってほしいと考えています。

(左から)
福島大学
理工学群共生システム理工学類
名誉教授 特任教授 渡邊 明 さん
人材育成プログラム
特任研究員 長谷川 秀輝 さん

講座の内容は、受講生や講師へのアンケートを踏まえて見直しを行っています。

今後は南相馬市などでも開講を予定しており、引き続き地域のニーズに合った人材育成を進めていきたいと考えています。



葛尾村での講義の様子



葛尾村での現地見学の様子



福島大学
再生エネルギー人材育成プログラム事務局
福島県福島市金谷川1番地
連絡先: 024-503-3805
<http://www.sss.fukushima-u.ac.jp/saiene/>



「村の内外から若い人たちが集まるよう、企業として力添えをしたい」

父親が横浜で営んでいた工作機械の修理会社に勤務しながら金型部品の加工技術を覚えました。その後、縁あって平成14年にここ飯舘村の施設を借用・改築し、地元の人と3人で金型部品の製造を始めました。

避難指示後に福島市内に移転しましたが、しばらくすると受注が増え、手狭になったことから、従業員の理解を得て、飯舘村での操業を再開することにしました。

村役場に連絡したところ、村から借りていた元の場所は、復興住宅が建てられるため使えなくなることがわかり、村と県の支援を得て村内の代わりの場所に新しい工場を建てることにしました。

新工場は昨年末に一部稼働を開始し、今年1月下旬から本格稼働しています。

従業員は若手が多く、うち半数は経験が浅いため、生産効率を一気に戻すのは大変ですが、福島市の工場と飯舘村の工場を一体的に運用して、行程の管理と製品の品質維持に努めています。

製品の移り変わりが激しいので、新しい顧客の開拓にも努めています。



携帯電話などのコネクタの製造に使われる金型の部品を作っています



硬い特殊な鋼材を切って形を作っていきます



村の内外出身の若い従業員を育てながら、一緒にがんばっています。

有限会社斉藤製作所
取締役社長 斉藤 隆 さん

村内で操業していることをいろいろな人に知っていただき、若い人たちを中心に村の内外から人が集まるよう、企業として力添えをしたいと思います。



大きな工作機械を使って、細かな溝などをつけていきます



製品の種類に応じた加工ツールをそのつど作っています



有限会社斉藤製作所
福島県相馬郡飯舘村臼石字町4-8
連絡先：0244-26-7854



拡大図

浪江IC

常磐自動車道

二輪通行可

帰還困難区域

二輪通行不可

双葉町

大熊町

通行証の所持・確認が不要なルート(24時間)
(一般道：二輪通行不可)
(太線は今回変更)

同上
(高速道路等：二輪通行可)

通行証の所持・確認が必要なルート
(5:00～19:00)



ふれあい
ニュースター

4 ふれあいニュースレター第49号